

地域が学び、見守り・支える活動

福祉会だより

令和4年3月号No. 2

羽島市社会福祉協議会事務局

令和4年3月4日発行



福祉会メンバーによる「ふれあい声かけ活動」

坂井福祉会

※福祉会活動ガイドライン（第4版）にも掲載しています

区長、副区長、民生委員、主任児童委員、社会福祉委員で活動しています。

毎月ふれあいサロン活動を行うほか、必要に応じて地域にお住まいの方々の福祉ニーズについて話し合いをしたり、福祉制度について学習活動をしたりしています。

☆活動内容☆

10年以上前から、福祉会のメンバーで協力し合い、毎年1回、概ね80歳以上の高齢者全員（世帯構成を問わない）を対象とした訪問による「ふれあい声かけ活動」を行っています。

現在の対象者は29名です。対象者と訪問者がおしゃべりをするきっかけとして、羽島市地域包括支援センターが発行している「見守り情報」とお菓子などを、訪問する時に持参しています。



区長さんは、「(対象者を)昔から知っているから照れくさいが、こうやって訪問するのは良いことですね」とお話されます。対象者に喜んでいただくだけでなく、地域住民同士の新たなつながりづくりや、つながり続けるといった効果があります。

今年度は1月中旬に訪問。
民生委員さんが折り紙で作製した「寅」。
「かわいいね～」とお話のタネに♪



お知らせ

～令和4年度福祉会活動計画書の提出について～

令和4年度に福祉会活動を行う予定の地区（新規・再開を含む）は、4月28日（木）までに、「福祉会活動計画書」を提出してください。

なお、福祉会活動は行うものの、本会による助成金の交付を希望しない福祉会についても、実態把握のために提出をお願いします。



「福祉会だより」は共同募金の配分金により作成しました。